玉造中だより
楽し学舎（まなびや）
No. 26
R2・11・2

県新人戦終了！「玉中PRIDE」が随所に・・・

女子テニス部、個人・団体とも県ベスト４！

県ベスト4に入った女子テニス部

女子テニス部 個人・団体ともベスト四に

二十七日から行われていた「県新人体育大会」が三十日に無事終了しました。

県大会の先陣を切ったのは女子テニス部でした。初日の個人戦ではペアがベスト十六、そしてもう一ペアがベスト四に入りました。また、翌日の団体では、他地区の強豪を次々に打ち破り、見事ベスト四まで勝ち上がりました。準決勝では惜しくも優勝した学校に敗れてしまいましたが、すばらしい戦いを魅せてくれました。同じ日に行われた男子個人戦でも、一ペアが一回戦でフルセットの末敗れましたが、思う存分自分たちの力を県大会で発揮してくれました。

県の「厚いカベ」

バレー部の県大会の様子

二十九日に行われたバレーは、初戦で県西二位の強豪と対戦しました。序盤こそ接戦で進みましたが、次第に引き離され、惜しくも敗れました。しかし、出場した選手からは「県大会に出るチームの力を知り勉強になった。」という話を聞きました。残念ながら敗れましたが、県大会に出場できたから、県のレベルを知ることができたのだと思います。それをこれからの練習につなげ、総体もぜひ県大会に出場して欲しいと思います。

女子卓球個人も残念ながら初戦で敗れましたが、試合後に自分たちで反省をしている姿を見ることができ、これからが楽しみになりました。

総体で勝つために

三十日のハンドボールでは、男子は前半、大きくリードされましたが、後半をあきらめずに追い上げる姿がありました。仲間に声をかけながら、一点一点返していく姿、すばらしかった。これからは必ず生きてくるはずです。女子は惜しかった。前半リードし、県大会初勝利が見えていましたが、勝負の世界は厳しく、後半に追いつかれ、残念ながら敗れてしまいました。

今回の県大会を通して、地区大会では見えなかった課題が、県大会では明らかになった部活が多かったと思います。それは、県大会に出場したから知れたことであって、貴重な経験をしてきました。（出ていかなければそのことは分かりません。）だからこそ、今度は夏の総体に向けて、この冬の課題として同じ練習をしていたら、結局は今以上の結果は得ることはできません。総体では、多くの部活が県大会に出場できることを期待しています。頑張れ！玉中。

男子ハンド部の県大会の様子

人間やめますか？薬物乱用防止教室開催

質問に答える３年生

二十九日の五・六校時に、三年生を対象に「薬物乱用防止教室」が体育館で開催されました。

この教室は、毎年、行方々がイオンズクラブの中心となって開催されているもので、中学卒業後、社会との接点が多くなる三年生に改めて「薬物」の怖さを知り、絶対に手を出さないようにするために行っているものです。

教室は、最初に「薬物」についての説明を聞き、その怖さや薬物によって生じる様々な現象や症状について知ることができました。その後、各教室でDVDを鑑賞しました。また、キャラバンカーにも全員が乗車し、その中で様々な「薬物の種類」について勉強することができました。

フラッシュバックについての回答

最後は、講師の先生から、今日の教室の振り返りがあり、生徒一人一人が、絶対に「薬物」には手を出さないという誓いをして教室を終了しました。

参加した三年生からは「薬物の怖さを知った。一度手を出すとやめることができなくなるということを知り、私は絶対に手を出したりはしません。」

「薬物は、遠い存在と思っていたのが、中高生にも広がっているという話を聞き、恐ろしくなりました。」

今、ニュース等でも毎日のように薬物についての話が出てきます。それだけ「薬物」は身近にあります。ちょっとした好奇心から・・・ではすみません。薬物に一度手を出してしまったらおしまいです。

「薬物」に手を出してあなたは人間をやめますか？

キャラバンカーの中の見学

編集後記

「勉強に向かわせるもの」

週末に本を読んでいたら興味深いことが書いてあった。本の中で、勉強に向かわせるものとして三つの条件があるという。

一つ目は「環境」。勉強にむかうためにふさわしい環境。静かな環境であること、整理整頓がされていること、周りの人の支援や応援があることなどの環境です。物的な環境は、ほとんど揃っていると思う。問題は、家庭や教室の中の環境です。落ち着いた環境が求められている。

二つ目は、勉強するための「動機・目的」。

なぜ勉強するのかという目的や目標のことです。身近な目標ならば、数学ができるようになりたい、〇〇高校に行きたいというような目標。遠い目標なら、宇宙船の飛行士になりたい、環境問題に取り組んでみたいというようなものがあげられる。こうした目的や目標があると、人は苦しい努力に耐えられるようになります。

三つ目は、「出逢い」。誰と出会うかが大きいのです。その人の影響や支援を受けながら、頑張ることができます。人の縁を大切にすることは、チャンスがどんどん舞い込んできます。人に優しくできる玉造中生であってほしいと思います。

県の新人戦も終わり、やっと普段の学校生活を取り戻すことができる。勉強に集中するには絶好の時期となる。三年生も高校説明会や三者面談を控え、いよいよ受験シーズンがやってきたという感じだ。「もう遅いんじゃない？」そんなことは全くない。

（文責：小野口　吉政）